

広報 あち

謹賀新年

本年もよろしくお願ひします

令和2年 1月

2020.1 No.235

- 2 「美しく輝く未来へ」 第25回
- 3 村政功労者表彰
- 4 年頭のごあいさつ
- 6 熊谷元一写真賞コンクール
- 8 清内路の未来を語る会
- 10 12月議会定例会 村長あいさつ
- 14 10月・11月に村内8地区で行った
村政懇談会の主な内容をお知らせします
- 20 地域子どもたち
- 21 保育園日記
- 22 阿智☆昼神観光局～PICK UP～
- 23 あち健康レシピ21
- 24 阿智高だより (Vol.64)
- 25 Achi Photo report
- 27 戸籍の窓
- 28 わたしの撮っておき
- 別冊 平成31年度・令和元年度 全国学力・学習状況調査のまとめ



○表紙の写真

撮影場所：下清内路

撮影者：中田大慈

下清内路でのどんど焼き。

私の地元大阪にも存在するらしいのですが、参加したことがなかったので初めて見る機会となりました。寒い中でしたが、火の温もりと竹の破裂音を感じながら撮影をさせていただきました。

「美しく輝く未来へ」

第25回

— ふるさとを愛する —

阿智村長 熊谷 秀 樹

新年おめでとうございます。令和初めてのお正月、皆様いかがでしたでしょうか？天気もよく穏やかな1年のスタートが切れた三が日だったかと思います。さて、中日新聞をお読みになっている方は、ご覧になったかと存じますが、元旦号の特集に大きく阿智の星空の記事が掲載されました。中日新聞の発行部数は220万部だそうです。又、JR東海さんの2020年カレンダーの2月は清内路健康の森から撮った星空写真。他の月は富士山や京都の風景であり、肩を並べて掲載されています。テレビでもNHKで放送されたりと、多くの全国の皆さんが阿智の星空を目にして頂いたこととなります。今年のお正月は月が隠れていた為、帰省された皆さんも、改めて感動した方も多かったと思います。私のところにも、多くの阿智を離れた知り合いの方から中日新聞を見て、激励の連絡を頂きました。私達自身はもちろん、特に子供達、ふるさとを離れた人達も改めて阿智村の素晴らしさを認識し、いつまでも愛していきたいと願う年の始めでした。本年もよろしく願いいたします。



村政功労者表彰

第26回阿智村政功労者表彰式典を、令和元年11月16日に阿智村コミュニティ館ホールで行いました。永年村政の発展にご尽力されたみなさま、スポーツ活動や技術等で活躍されたみなさまに対し感謝の気持ちをこめ表彰させていただきました。受賞された方は次のみなさまです。



特別表彰状贈呈

洪谷 斗亜様

2019年全国高等学校総合体育大会バレーボール競技全国優勝

表彰状贈呈

塚田 紀昭様

教育委員・教育委員長・教育長職務代理 16年間

櫻井 茂男様

人権擁護委員 15年間

櫻井 泉様

行政相談委員 12年間

原 正秋様

社会教育委員 18年間

下原 恒夫様

文化財委員 12年間

清水 香里様

第43回全国高等学校総合文化祭出場

金子 詩奈様

令和元年度日本学校農業クラブ全国大会出場

芦澤 陽菜様

令和元年度日本学校農業クラブ全国大会出場

澤井 栞里様

第59回系東会全国選手権大会出場

感謝状贈呈

後藤 正様

村政進展のため多額のご寄付

年頭のごあいさつ

謹賀新年「令和新時代」の村づくり



阿智村長
熊谷 秀樹

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え、村民の皆様方におかれましては、令和初めての新春を健やかに迎えになったことと思います。本年も村民の皆さんが幸せで健康に過ごせるよう、そして村の発展を願い努力して参る所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年は日本国民が待ちに待った東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本中が大変盛り上がるでしょ

うし景気の上昇にも期待したいところであります。南信州地域も三遠南信道天龍峡大橋が昨年完成し、リニア開業まであと7年。新しい時代に向けて、希望に満ちた年となるよう、期待したいと思います。

当村は現在「星ふるさと阿智村」として、日本一の星空に代表される地域資源を大切に、私たちの住むふるさとを大事にして欲しいという願いのもと、村の方針を立て、様々な事業に取り組んでいます。そして、3年目を迎える第6次基本構想の将

来像は「阿智家族」〜住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくりです。村ごと大きな家族として、夢を語り合い、支えあい、助け合って生きていく、すべての人の心ふるさととして、人も星も輝く村をめざしていくという考えです。大綱として、定住人口の確保維持、教育や福祉に関連した人づくり、健康づくり、そして地域力のパワーアップ、全国レベルの阿智ブランド力の強化、リニアや三遠南信自動車道を見据えたまちづくり計画を柱に、展開中でございます。

令和2年は、なんといっても昨年の県内の災害を目の当たりにする中で、まずは昨年に引き続き、住民が安心安全に暮らせる災害対策、インフラ整備を進め、特に今まで空いてしまっている村の施設に新しい灯をとすなど、優先的に行って参りたいと思います。特に昨年からまちづくりに重きを置き、今までの長年の懸案事項であった、昼神温泉郷の再開発、わいわい公園周辺の整備事業など、具体案を

本年お示しし、スケジュール感を持って進めて参りたいと思います。

そして、第6次基本構想の中にはありますが、時代が変わりつつある中で、今年、定住施策の充実、公共交通システムの充実、環境をもっと意識した政策、冬場の農産物生産のために、バイオマスボイラーを使ったビニールハウスでの取り組みも始める農業施策、村の食糧自給率を高める戦略も実施していきたいと思っております。教育、福祉、くらし等多くの課題もございしますが、村民の方からのご意見を気軽にお伝え頂ければと思います。

阿智村には、星空を代表する都会の人達が涙を流して感動する四季の素晴らしい景色があります。東山道を代表する奥深い歴史があります。温泉があります。あたたかい人柄の皆さんが当村を支えてくれています。こんなステキな阿智村のさらなる発展を願い、今年1年の皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。年頭のご挨拶と致します。

年頭にあたり



阿智村議会議長

熊谷義文

新年あけましておめでとうござ
います。

村民の皆さまにおかれましては、
穏やかな新春を迎えられたことと
お慶び申し上げます。皆様にとっ
てこの一年が実り多い年となりま
すようご祈念申し上げます。

議会と致ししても、村民の
方々の幸せのため、又「豊かで誇
れる村」づくりに向け、活動して
行く所存です。どうかよろしくお
願い致します。

昨年は、新天皇が即位され、年
号も「令和」と変わり日本にとっ
て歴史的な年となりました。

戦後、目覚ましい経済発展を遂
げた我が国ですが、近年の経済は
政府が言われる「アベノミクスの
成果が出ている」という程の実感

がないのが実態です。トップ企業
の株価は上がっていますが、中小
企業や地方にとっては「実感がな
い、相変わらず苦しい」といった
声が聞こえてきます。

今年は、オリンピック・パラリ
ンピックが東京を中心にして行わ
れます。多くの外国の方が見えた
り、国内での移動、宿泊等活気あ
る経済環境が生まれることが予想
されます。しかし、秋以降その反
動も考えられます。今から政策を
打たれることを強く望むものです。

また、異常気象による大型台風
や集中豪雨、地震等による災害の
心配、人口減少、都会と地方の間
題等の課題もあります。都会から
地方へと「地方創生事業」も行わ
れていますが、目立った効果が出

ていません。また、異常気象の原
因は「地球の温暖化」と言われて
います。しかしCO2削減に対し
ての対応が遅い日本に対して「化
石大賞」という不名誉な言葉を世
界から頂く状況も出ています。環
境問題は「すでに遅れている」と
言われます。将来の子どもたちの
ために、すぐに具体策を出し事業
を進めることが国の責任と強く訴
えます。

さて、このような国の課題は当
村にも関わってきます。昨年、大
型台風により当村には大きな被害
はありませんでしたが、県内では
千曲川の増水により堤防が決壊し
大きな被害が発生しました。これ
を自分たちのことと捉え、常日頃
の防災意識と対策には万全を尽く
さなければなりません。昨年末に
各戸に配布された、ハザードマッ
プは地図を入れ詳細にわたり作成
されています。しっかりと目を通し、
有効に活用されるようお願いする
ものです。

また人口減少の問題もありま
す。6千人を維持するために効果
のある施策を打っていかなければ
なりません。この問題は全国的な
問題で「取り合い」になるわけ
であり、特色ある村づくりが必要で
す。定住対策は進められています
が、常に発信し続けることが大切
となります。

基盤産業である農業の問題もあ
ります。荒廢地が増えることによ
り景観を損ねたり、環境の悪化に
も繋がります。後継者不足、従事
者の高齢化等今後の阿智村農業に
ついて、今しっかりと検討しなけれ
ばなりません。昨年からの取り組ん
でいる「アグロフォレストリー事
業」が稼働を始めます。新しい形
として成功することを願うもので
す。

また、村のまちづくり事業が始
まりました。当面、昼神温泉の将
来構想と仮称ワイワイパークの公
園整備に取り組みます。7年後の
リニア中央新幹線の開通も控え、
魅力ある村づくりのため、早急に
またしっかりとした方向性を見極
めた事業となるよう取り組みます。

住民主体、協働の村づくりを進
める中で、村民の皆さまの村づく
りへの意識が高まっていることを
感じます。要望や意見を踏まえ、
中身の濃い議論が出来る議会活動
を行い、住民の代表という意識を
更に高めなくてはなりません。我々
の任期もあと1年弱となりました。
残された期間、精一杯取り組む所
存ですので今後よろしくお願
い致します。

結びになりますが、今年が災害
の無い平穏な年であるよう、また
阿智村の益々の発展をご祈念し新
年のあいさつとします。

第22回

熊谷元一写真賞コンクール

テーマ

「食べる」

膨大な農村記録写真を残した阿智村出身の写真家、熊谷元一氏の功績を称え創設された「熊谷元一写真賞コンクール」が第22回を迎えました。今回のテーマは「食べる」です。応募点数529点から31点の入賞作品が決まり、令和元年11月16日に表彰式が行われました。

〈審査員総評〉

「食べる」を捉えた作品が北海道から沖縄まで全国から529点の応募がありました。家庭の中や稲刈り収穫の野良、お昼時、結婚式、イベントなどさまざまな場面、年代層は子どもから大人、中には介護を要するお年寄りまで、それに馬や野鳥などの動物…と身近なところにレンズを向けた多彩な作品が寄せられました。

素材は多彩でしたが、全体的に食べている光景そのものずばりといった作品が多く、やや突っ込み不足の感がありました。「食」は、生物が生きてゆくのに欠かせない生命誕生の太古からの営みで、古い歴史や文化などを併せ持っています。

審査員からも「このコンクールは全国レベル。もっと各地域に根を張った伝統的なもの」、「昔からの家庭でも行われている『お食い初め』やお誕生の『升餅』など身近な行事などの作品が乏しかったのは残念との評が出ました。

阿智村内部門は、素材が多様化し技術力とも年々レベルが上がってきていることが今回も実感できました。

高校生以下の部は、上記でも触れましたが、テーマに引きずられ過ぎたダイレクトな作品が多数を占めました。やはり、一歩は少ししたもの、考察の上から生まれたもの、プラス若者ならではの斬新な

〔入賞一覧〕

テーマ部門

熊谷元一写真大賞

阿智村賞

信濃毎日新聞賞

J Aみなみ信州賞

優秀賞 2点

佳作 10点

飯田信用金庫賞

(高校生以下の部) 5点

阿智村撮影部門

阿智村輝き賞 10点

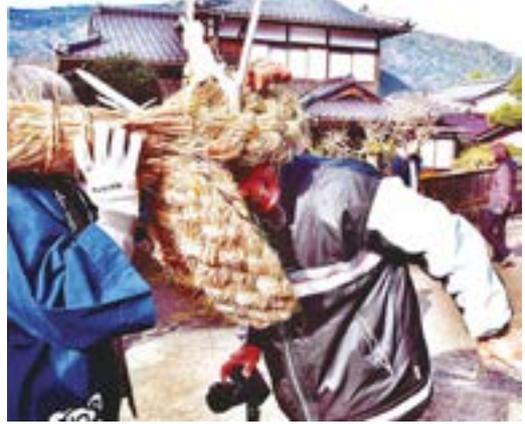


●元一写真大賞
「腹ごしらえ」
山口 元 広 (福島県三春町)



●阿智村賞
「親子の絆」
松野 邦 弘 (長野県長野市)

● J Aみなみ信州賞
「いただきます」
中平麗子
(長野県松川町)



● 信 毎 賞 「呑み込まれるカメラマン」
荒木孝允 (兵庫県丹波市)



● 優良賞② 「港でランチ」
藤森保男 (岡山県岡山市)



● 優良賞① 「おいしい顔」
仲程梨枝子 (沖縄県那覇市)



● 阿智村輝き賞 「4月の雪」
中島敬子 (長野県阿智村)



● 飯田信用金庫賞① 「あつい日のはざかけ」
田中倅絵 (長野県阿智村)

村内の受賞者の作品

発想を盛り込んだもの…。次回を期待しています。

【次回テーマ】

テーマ「令和のごども」

平成から令和へ元音が移り変わる中で、ごどもたちを取り巻く社会環境も大きく変化してきました。昨今はごどもたちが傷つけられるような暗いニュースも多く、心を痛めている人も多いのではないのでしょうか。とはいえ、彼らこそ未来にむけて育むべき貴重な財産であることに違いはありません。また、その生命力がみなぎるいきいきとした表情や動きは、写真の被写体としてもとても魅力的です。熊谷元一は代表作の『一年生』（1955年）を見ればわかるように、「ごども写真」の名手でした。昭和から、平成を経て令和へと、何が変わり、何が共通しているのか、「令和のごども」の写真を通じて確かめてみたいものです。ぜひ、力作、意欲作を多数お寄せください。

◎阿智村内撮影部門
テーマにとらわれない阿智村内で撮影した写真を対象とする部門です。被写体の宝庫である「阿智村」を撮影して作品をお寄せください。

清内路の未来を語る会

合併10周年記念

案内チラシ▶



手紙でお誘い

「大勢来てくれてよかったね」「いい記念行事だったよ」などとうれしい言葉をかけてくれる方々、久しぶりの再会に話弾む皆さん、昔懐かしい料理に舌鼓され「おいしい」と微笑まれる人など、終始和やかな雰囲気にも包まれた記念行事。平成21年3月31日に、旧清内路村が阿智村と合併して10年の節目を迎えた昨年、実行委員会（櫻井弘志会長などが中心となって、これを記念する「清内路の未来を語る会」が10月27日、旧清内路中学校で開催され、約130人が参加しました。

と、便箋を用意。記念切手は手づくり花火や赤根大根を題材に、便箋はイラスト書道家和全（わぜん）さんに依頼しました。28名の方が72通もの手紙を書き、これを受け取られた方のうち20名の皆さんが、当日会場に来られました。会の中で、合併当時の苦労などが綴られた旧清内路村長櫻井久江さんと前阿智村長岡庭一雄さんとの間で交わされた手紙や、「合併後に疲弊してしまつた地域が少なくない中、頑張つてほしい、応援したい」「清内路に生きる人との出会いが私にとつ

て大きな宝」などと記された信濃毎日新聞社の和田千寿、河原千春両記者のメッセージなども披露されました。

公共の広場 清中プラザ

また、一昨年ディスプレイセンター「ひだまり」、昨年清内路振興室の移転と、合併10周年を機に旧清内路



▲講演される吉田伸之先生



手紙用便せん▶

▼記念切手 題材は手づくり花火や名所、和全さんデザインなど



▲和全さんの書を囲んで玄関前で記念写真



▲ブラックライトを浴びて浮き上がる

中学校の愛称を募集したところ、32名32作品が寄せられ、審査の結果、櫻井信和さんの「清中プラザ」に決定し会の当日、発表と表彰が行われました。愛称には清内路中学校の「清中」と誰もが集える公共の広場にとの思いが込められています。



▲参加者で満席の多目的ルーム

◀合併10周年を記念して新発売の赤根大根焼酎「清内路」



“家庭料理を味わう会”などの地区内の団体や店舗から伝統料理の「とじこめり」などが並ぶ中、「箱ずし」のすし箱も展示された。



残り」と話されていました。和全さんと二胡奏者岡島 壮史さんの書道パフォーマンス、クライマックスはブックライトに浮かぶ「清中プラザ」の文字。懇親会では地元伝統料理などが振る舞われました。

記念講演は、16年の長きにわたり清内路地区の歴史と文化を研究されている東京大学名誉教授で飯田市歴史研究所の所長、吉田伸之先生に「山里清内路の昔と今を考える」と題し、ご講演いただきました。その中で、「多くの若者500人余りが清内路の調査に参加してきた。清内路の歴史は、阿智村との合併で途絶えた訳ではない。17世紀初めに成立し、以来四百年余りの歴史を持ち美しい文化的景観を残す」と話されていました。

清内路振興室を移転

清中プラザ (旧清内路中学校)へ



旧清内路振興室の建物は、清内路村役場庁舎として昭和42年に完成、阿智村と合併して清内路支所、清内路振興室と名称を変えながら52年が経過。老朽化が進み、清内路振興協議会からその機能を、旧清内路中学校へ移転するよう答申が出されていました。昨年11月18日旧校舎の一部を改修して振興室の業務が始まりました。18日の開所式には村長をはじめ地元関係者らが出席。



▲改修された事務室でさっそく業務

新振興室は、建物一階の職員室だったスペースに、一部土足でも上がるようにタイルを敷き、カウンターを設け、自動扉と照明のLED化を行いました。昨年度は校庭の舗装、トイレの洋式化、来年度には非常用予備発電装置設置等の計画があり、清中プラザに避難所等の防災拠点として、また地域のコミュニティ拠点施設としての役割が期待されています。



▲開所式には、村、議会、自治会関係者などが出席

(はじめに)

12月定例議会に際しまして一言ごあいさつ申し上げます。

いよいよ今年もあと1ヶ月となり、師走の大変寒く忙しい時期となりました。

9月から11月にかけて、当村では毎週のように行事やイベントがありました。多くの村民の皆様楽しんで頂いた阿智祭、第51回阿智村駅伝大会、村政功労者表彰式、プレミアム商品券発売、ライトダウン村民デー、湯つたりーな昼神300万人達成イベント、ふくまるくんカード更新イベント、熊谷元一写真賞コンクール表彰式、伝統の清内路花火、村民運動会、敬老会など、皆さんがそれぞれの会場でお会いすると、元気で活躍する姿は大変うれしく思いました。

今年も、なんとといっても10月12日、台風19号による長野県を含む広範囲

で起きた大雨による災害のことが悲しい出来事でした。飯田下伊那地域では軽微なものでしたが、千曲川流域をはじめ東日本を中心に広く災害

が発生しました。犠牲となられた皆さんに謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された皆さんの一日も早い復興を願う次第でございます。被災地へは当村から職員4名の応援派遣やブルーシートなどの応援物資の届け、募金活動、社協さんも職員派遣や応援ボランティアバスツアーの企画など行なって参ったわけですが、こうした災害の現状を見るにつけ、大規模災害に対しては、やはり広域的な対応が必要であることを改めて痛感した次第です。当村も住民の皆さんの安心安全な暮らしを守るため、12月に全戸にハザードマップを配り、各家庭、地域で活用頂きながら、防災対策の推進に努めると共に、必要な警戒を怠らぬようにして参りたいと考えています。

(村の状況)

さて、阿智村ではこの3か月の間に様々な出来事がありました。

主なものをいくつか述べさせていただきます。

代表的なものとして、11月18日に、老朽化に伴い、地域の要望でありました清内路振興室を旧清内路中学の一角に移転することができました。昭和42年に清内路村役場として開設以来、実に52年間、地域の皆さんに親しまれてきた建物でした。特に清内路地区の皆さんに振興協議会等を通じて、旧清内路中学校をどうするかという長い議論の中で、様々な紆余曲折がありました。約10年間空いてしまっていた中学校に、昨年のデザインサイブスに続き、ようやく灯をともすことができました。元職員室であった一室を改修し、玄関を自動ドアにし、入りやすい空間となりました。又、昨年実施した、ぬかるんでいたグラウンドの舗装により、会議、イベントなど駐車場に利用すること

ができるようになりました。建物の名称を「清中プラザ」として福祉の充実、住民の皆さんの集う場として整備し、さらに地域振興に発展していただきたいと思います。

全国、長野県でも騒がれました豚コレラ(CSF)についても、当村ではここにかけて、野生いのししに5件の陽性反応が出てしまいました。県の指導を頂きながら、猟友会の皆さんの協力も頂き、いのししの処分、経口ワクチンの実施、役場等の入り口に消毒の設置、休日の対応など行なって参りました。南信州地域でも広がっており、しばらくは終息が見込めそうにもありません。村では11月15日からの狩猟期でも、いのししに限って捕獲報償費を支払うよう補正を組ませて頂きましたので、よろしくお願いたします。

又、村では11月に8か所の地区懇談会を開催し、5年前に策定した人口ビジョンの検証と、実際の人口データを見て、それぞれの地区から、特に定住についてご意見を頂きました。

た。どの地区においても、右肩下がりではありますが、空家の事や遊休農地のことも話題に出て、譲って頂くには近所の地域の皆さんの協力も必要であり、清内路地区で自主的に行っている空家の会の取り組みも大いに参考になりました。又、山の手入れの事、里山整備についても意見が出ました。時代が大きく変わり、建物の構造やエネルギーの変化から木が売れない昨今や、全国的に今まで森林政策に力を注いで来なかった事も要因であります。分科会方式でテーマ毎に論議した自治会もあって、活発な意見も多く出されました。

さて、教育関係では、中学の放課後の部活動のあり方について、検討を進めています。具体的には部活動の延長としての阿智中クラブを廃止して、チャレンジゆうA c h iの講座に位置付けるものです。12月2日にチャレンジゆうA c h iのN P O 法人設立総会が開かれ、来年4月発足に向けた準備が進められております。現在、阿智中クラブ保護者会との調整、話し合いを行ってお

り、来年度スムーズにチャレンジゆうA c h iの講座に移行できるように努めて参ります。

又、公民館事業では、阿智村出身でふるさとを離れて暮らし活躍している皆さんに、シリーズで「ふるさと阿智村への提言」と題して、離れてみて感じたこと、故郷へのアドバースを頂く講演会を行いました。10月29日と、11月29日にそれぞれ二人ずつ、スポーツや美容界、再生エネルギーや人材など多岐にわたって貴重な話を頂きました。森林の中のジョギングできるコースは都会の人のあこがれであり、是非作ってみたいかどうか。温泉を使ったエネルギーの可能性や、コワーキングスペースを作って新しい仕事の可能性が広がる挑戦をしたかどうか。阿智は村民が思うより外では注目されている事実をもっと知り、誇りに思うべき。など大変参考になりました。

11月24日に開催された第51回阿智村駅伝大会では、50チームが参加し、好天のもと賑やかに開催できました。南信州地域の中でも51回という伝統

は、天龍村の梅花駅伝と共に歴史があり、走る人、支えるスタッフ、応援する人が一体となった、今や阿智村の最大のイベントとなりました。

多くの皆様に支えて頂いているこの駅伝大会が長く続いて、さらなる絆が深まるよう期待したいと思えます。

まちづくりの面では、12月5日にわいわい公園周辺整備検討委員会主催により住民からの意見を聞く会が開催されました。これまでも住民懇談会などで、駐車場が足りない、子供の遊び場が駐車場に近く危険だ、トイレが古い、ランニングコースが欲しいなど、様々な意見が出されていたところですが、委員会として半年間の検討結果をたたき台として示し、自由なご意見を頂きました。今後更に、幅広い世代の意見を集約、反映し、委員会として今後答申を頂く予定です。

又、昼神温泉につきましては、昨年11月の昼神温泉将来構想検討委員会による答申、今年9月の将来構想シンポジウムでの議論等を踏まえ、現在、村及び阿智昼神観光局の立場

から、具体的な構想の策定作業を進めております。

2027年のリニア中央新幹線の開通を見据え、昼神温泉に備えるべき機能や必要な取組についての具体的方針を、今年度中を目途にお示しして参りたいと存じます。この中で、中心部に位置する湯つたりーな昼神、鶴巻荘、熊谷元一写真童画館などの村有施設の機能や今後の方向性についても検討し、明確にして参りたいと考えております。

リニア中央新幹線の工事進捗状況についてであります。JR東海では11月7日に「中央アルプストーン（萩の平）工事における環境保全報告書」及び「阿智村における水資源に係る具体的な調査計画書」を公表しました。その後長野県環境部では、11月12日に報告書及び計画書に対する環境保全の見地からの意見募集を行っており、村でも10月17日の工事説明会で出された意見や、関係機関から意見を聞く中で、意見書を提出する予定となっております。今後長野県からJR東海に対し、事業

の実施に伴う環境への影響が、最大限回避、低減されるように助言が行われますが、J・R東海には環境保全への措置については、一律的な基準ではなく、この地域で生活する住民の皆さんを第一に考えて対応して頂くよう要望して参ります。

民生関係では、11月25日に認知症に伴う高齢者の免許返納、公共交通についてシンポジウムを開催し、飯田病院のドクターや、飯田警察署交通課の方など説明を頂きました。認知症に懸念のある高齢者の方が、今の公共交通のしくみで本当に家まで帰ってこれるのか、免許返納の対策としてタクシードライバーやシニアカーの補助など意見も出されました。高齢ドライバーの事故は社会問題となっており、今後しっかりとした対応をとって参りたいと考えます。

ちょうど11月21日には、交通事故死亡事故ゼロの連続1000日達成の表彰を長野県より頂くことができました。国道が走り、これだけの観光客が来ている村としてのこの表彰は、大変価値あるものだと思います。安協

の皆さんの日頃の啓蒙活動と、南信州一長い人波作戦の効果かと思えます。

今年は第22回の熊谷元一写真賞コンクールの表彰式を熊谷元一写真童画館で開催しました。テーマは「食べる」で、今年も全国から206人529名の応募がありました。全国規模の大きなコンクールとなりましたので、年々レベルが上がり、力作が揃い、大賞に岩手県の山口元広さんの作品が選ばれました。

元一先生が残された記録写真は歴史を振り返るうえで大変参考になり、懐かしさだけでなく、見るたびに、これからの私たちの生き方、日本の進むべき道を考えさせてくれます。先生の功績を語り継いでいく事とともに、記録写真を残していく事の重要性を改めて感じました。

(議会案件について)

本定例会においてご審議頂く案件について申し上げます。

案件は、人事案件1件、条例案件

10件、予算案件5件であります。

人事案件は、固定資産評価審査委員の内1名が任期満了になりますので、選任について同意を求めらるものであります。

条例案件のうち、日程第5、6、10については新たに創設される会計年度任用職員制度に関しお願いしたいものでございます。

日程8の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定については長年の懸案となっていた月川温泉について、本年9月1日付けで施設を村有化することで、村としての大きな課題を解決できたものと考えておりますが、この過程で混乱が生じたことに対し、私自身のけじめ、責任をお願いしたいものでございます。

れぞれ5,892,088千円とするものです。

歳出の主なものは、

・二酸化炭素排出抑制対策事業設計費 6,140千円

・豚コレラ対策用トラック購入費 594千円

・給油用ポンプ交換 682千円

・浪合フォーラム改修事業設計委託料 1,268千円

・定住住宅新增改築等支援金 10,000千円

・ぬくもりの田舎暮らし推進事業補助金の追加 1,400千円

・自立支援給付費等国庫負担金返還金等 2,805千円

・広域入所保育委託料

2,615千円

・米飯提供用保育園改修工事 7,908千円

・米飯提供用調理器具等備品購入 6,777千円

・雨よけ施設資材費補助金

3,650千円

・中山間総合整備事業負担金

12,000千円

- ・鳥獣捕獲報償費 1,500千円
- ・温泉維持費返還金 24,720千円

・村単道路維持補修工事 40,500千円

- ・消防団イメージアッププロジェクト事業 750千円
- ・被災地義援金 1,000千円

特に、保育園給食において、今まで子供たちは弁当の持参でしたが、来年度から主食の米飯を村で提供する為、効率の良い仕事ができるための施設の改修や調理器具の備品購入にあてる予定です。

又、冒頭にも述べましたが、豚コレラ（CSF）による影響で、村では11月15日からの狩猟期でも、いししに限って報償を支払う対応をさせて頂くよう補正を組ませて頂きました。

又、温泉維持返還金につきましては昼神温泉郷1軒の旅館の経営者の変更に伴う、温泉権利金を返還するものです。

被災地義援金100万円は今回の台風19号の被害にあわれた長野県の

皆さんに、県を通じて当村からお見舞いとしてお渡しするものです。

以上がご審議いただく案件であります。上程の都度詳しく説明致しますのでよろしくご審議を頂きますようお願い致します。

（おわりに）

先日11月17日に、永年の悲願でありました天龍峡大橋を含む三遠南信自動車道、天龍峡ICから龍江IC間が開通致しました。今回の開通により、竜東地域へのアクセスが格段に向上し、通勤、通学、買い物などが便利になり、なかでも天龍峡大橋につきましても、道路の下を歩くことができる「そらさんぼ天龍峡」が設置され、名勝天龍峡の新たな観光スポットとして大きく期待が持てます。特に昼神温泉を中心とする当村の観光との連携は、大変な効果があると確信します。自動車道の工事も各工区で着実に進められており、本年3月には青崩道路、本杭掘削工事に着手され、飯喬道路第3工区も順

調に進捗していると聞きしています。永年の要望活動が目に見えて進んでおり、国県、多くの皆様のご努力に感謝申し上げます。

そして、来年1月24日からコンビニ交付システムが稼働します。村民の皆さんの利便性を考え、マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアで住民票、印鑑証明書などが交付できるようになります。近隣町村と連携することで、国の特別交付税など受け、村の負担も軽減できることから、飯田下伊那地区では先駆けて、松川町、高森町と共に実施させて頂く予定です。

新しい元号となった令和元年もあと3週間程です。天皇の即位、大雨や首里城全焼の災害など令和という時代は、当村にとっても大きな時代の節目だったと感じます。先人が築いて頂いた当村の歴史や道しるべを、新たな時代もしっかり舵を取って参りたいと思います。飯田下伊那地区では、リニア開業まであと7年と迫り、駅周辺整備や二次交通の事、残

土の問題、アリーナやコンベンションホールの設置など議論が熱く進んでいます。広域全体の事を考えながら、当村としての役割、戦略を考え、今後進むべき道を示して参りたいと考えてます。

以上本会議に上程いたします議案等について申し上げます。安心で夢のある地域に向かって一緒に進んでいく村作りにはまい進していきますようご協力をお願いしてあいさつさせて頂きます。どうぞよろしくお願致します。



10月・11月に村内8地区で行った 村政懇談会の主な内容をお知らせします。

中関区自治会から出された、質問、意見等	回答等
新規就農希望者支援の農業・住居相談窓口を一本化して分かりやすくしていただきたい。	定住係が窓口となり農政係と連携して支援していきます。
定住政策は同じようなことを全国でしている、阿智村の強みは何か。	南信州全体で定住施策を行っています。観光において多くの方が訪れているので、交流人口から定住人口に結びつけたいと考えています。飯田市近郊であること、教育施設の充実、地元には高校があるなど、今ある環境にさらなる子育ての手厚い支援を検討していきます。
定住相談会での実績はどのくらいか。	東京では毎回、阿智村ブースに30人程が来てくれてそのうち2家族以上が実際に来村しています。
産業振興公社で「ぶどう」栽培を指導員を入れて行うと聞いたがJAとの関係は。	果樹については公社とJAと一緒に進め村の発展へつなげて行きたいと考えています。
宮崎邸の跡地利用については。	土蔵を取り壊して当面は広場として活用していただき、将来的な活用は地元と相談しながら検討していきます。
災害時にドローンを活用している村としての活用は。(中関)	今年度1機購入しましたので、色々な活用方法を検討して増やしていきたいと考えます。
上下水道施設の更新を計画的に一般財源を入れて行うべきではないか。	計画的に順次更新を行っていきます。使用料金の見直しもお願いしていく事になります。
ハザードマップの配布はいつになるのか、更新されているのか。	県の阿智川浸水想定区域・ため池氾濫区域見直しを反映しています。12月には配布致します。
空家の利活用は。	空き家の程度、貸出可能対象範囲でランク付けをしています。インターネットを活用して公募をしている空き家もあります。
上中関区自治会から出された、質問、意見等	回答等
コミュニティバスの利用状況・貢献度について聞きたい。	今年から巡回バスに加えて乗合タクシーを始めました買い物病院等へは巡回バスで帰りは荷物等があるのでタクシーで玄関先までの利用していただいています。
巡回バスは高齢者を利用対象としているが中学生も利用していいのかわからない。色々な人が乗れることが良いと思う。	中学生が利用していただいても良いです。高校生は信南交通のバス停まで利用しています。今後利用しやすくするために検討していきます。
乗合タクシーは1時間前の予約となっているが、診察は何時に終わるかわからないので不都合という声がある、承知おきいただければと思います。	承知しました。
七久里の埋め立ては難しい問題も有り全員が賛成ではないと思うが地域の声も聞きながら前に進めていただきたい。	埋め立てれば広くいい土地になると思います、災害面など問題もあるので様々な角度から検討していきます。
白山工業団地の進捗状況について。企業側の情報もしっかりと掴んでいるのか。	景気情勢等企業事情で当初の予定とおりに進んでいない現状です。売買にこだわらず、様々な選択肢により詰めていきたいと考えます。
平成30年度の決算から、村が特に力を入れた事業は、人口問題の事と理解して良いか。	5年間人口を増やしたいと定住施策に力を入れてきました。教育・福祉は大事なところ です。

高校生対象の役場採用試験の時期の変更について。	高校生の試験日は県下統一日となっているので、早めることが可能か確認します。
阿智高校生が授業の一環として被災地ボランティアに取り組む事はどうか。	高校側と相談したいと思います。
環境面からレジ袋をポリから紙に変える取組はどうか。	マイバックなどありますが、紙袋を先駆けて取り入れるのは商工会と相談してみます。
村長、副村長中心に村の考えを1つにして色々な事に対処してほしい。	その通りと思います。職員の顔が見える職場というのはそういうことだと思います。
監視カメラ・防犯カメラの設置についての考えは。	村では、不法投棄監視で3箇所、昼神で2箇所設置してあります。世の中の流れとして監視カメラは設置していく方向であるので、研究はして行きたいと思っています。
防災倉庫の設置について、集会所が無い集落に設置してほしい。	検討していきます。
村内企業がどういう問題を抱えているのか議員・村職員が出向いて聞き取りを行うことが必要と考える。	村の企業の状況をつかむことは重要な事と思います。企業訪問等をして問題等をつかみたいと思います
駒場区自治会から出された、質問、意見等	回 答 等
自主防災は実際に機能するのか。	20年ほど前に自主防災会を地区で作っていただいたが機能はしているとは思えない、今後自主防災組織を作ってください様に考えていきます。
阿智川の河川整備は市の沢、大橋付近までしていただきたい。	現計画は、2万～3万m ³ 運び出す予定、引き続きの整備を要望していきます。
自主防災についての勉強会を開催し、その時の質問に回答をもらっていない、明確に回答しながら今後を考えていくべきでないか。	自主防災勉強会については、自助の重要性から開催していただいたと思います。勉強会にだされた質問につきましては後日回答させていただきます。
村から配布されている救急道具の更新は誰がするのか。	村から配布した物につきましては、地域安全委員の方が確認して報告いただき村が更新します。
災害の実態に合わせた避難所を考えるべきでは。	ハザードマップで確認してください。状況で地区の避難場所として応急的に駒場区自治会館を使用するなど良いと思います。
気象庁から出る避難警報はわかりにくい、地区ごと警報は出せないか。	気象庁からの警報は阿智村と出ます。村では地域ごとの警報を出せるように整備を進めています。
第一小学校は、身体障がい者など体が不自由な方にとって不便ではないか。	福祉避難所に関して考えていますが、充分では無いので、今後細かく考えていきたいと思っています。
駒場地区を整備していく考えは無いのか。昼神から駒場までの遊歩道の設置など、駒場には歴史ある場所がある、昼神の整備が村全体に行き渡る整備をしてもらいたい。	宿場町としての活性化は大事だと考えます。歩道の整備とうまく絡められるようにして行けたらと思います。
駒場区からの要望に対する回答が回答になっていない。(いつ、どこまで、どのように)	回答方法について確認させていただきます。
昼神温泉について、シンポジウムを開きその後どのような方向で進めるのか。	皆さんの意見を詰めているところで、ある程度方向性が決まりましたら懇談会のような場で住民に報告します。
国保税について、資産割含めた4方式で算定を行っているが、県から資産割を考慮しない算定をするように指示されているのでは。	資産割が無くなる分を他で補わなければならないため、他の割合が高くなります。急激に税額が増える世帯もありますので、段階的に0にしていくようにしています。

駒場の街中に役場・診療所方面への巡回バス停はあるのか。	巡回バス路線については今年度見直しをします。駒場地区のバス停も考えたいと思います。
保安林になって整備がされていない山林が多いと思うが。	保安林でも整備は出来ますので、所有者の負担が増えないように補助を拡充しましたので整備を行っていただきたいと思います。
保育園から英語教育は始めることは出来ないか。	新年度よりA L Tの指導による保育園「英語あそび」、小学校1、2年「英語に親しむ時間」を新設します。
後藤さんからのご寄付を阿智村の子供達の将来のための教育に活用していただきたい。	中学校では放課後5教科の勉強が出来る若駒アカデミーの開催、小学校5、6年生にも放課後の学習支援を行うように考えています。
家庭介護者休養支援はなくなったのか。	今年度からお金での支援に変更しました。
浪合自治会から出された、質問、意見等	回 答 等
空き家の片付けの補助金額をあげてほしい。	他地区の様子などもみて考えたいと思います。
浪合診療所の常駐医師についてはどのようになっているのか。	常駐医師を捜していますがなかなか見つからないのが現状です。
村営住宅を充実させる事で阿智家族が増えるのではないか。	来年度浪合地区に1棟2世帯分の村営住宅を建設する予定です。
災害時に必要なラジオについて、難聴状況で有るがどうなっているのか。停電時の利用は。	ケーブルテレビの伝送路を利用する方法を検討中です。停電時は役場・振興室に非常用発電があるので大丈夫です。
停電により命にかかわる状態になったときの態勢はどうなっているのか。	対応は要支援者一覧表で確認をして、優先順位が高い方から支援できるように計画しています。
サルの被害により気を落としている若いトウモロコシ生産者がいるが何とかならないか。	被害を防ぐ決定打がない現状です。地区の皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。
閉鎖された事業所が浪合には多くある、その再生は民間任せではなく村主体で考えなくてはと思う。	治部坂のユーラックスのログハウス、浪合パークは一体的に地元中心の組織で活用してもらいたいと考えています。
銀河もみじキャンプ場は施設の老朽化が著しい、観光拠点の整備をしていただきたい。	指定管理者と話し合い随時進めて行きたいと思います。
智里東自治協議会から出された、質問、意見等	回 答 等
大沢部落への道路の通行止め、支障木に関して情報が無い、また違った工事により2路線が通行止めにならない用に調整してほしい。	情報の提供が出来ずに申し訳ありません。工程会議等を密に行っています。ご迷惑をおかけしすみませんでした。
中平にゴミ集積所を2箇所増やしたい。舗装がだいぶ酷い状態になっている危険な箇所も有る。	回収車の通り道なら可能と思いますが、相談ください。集積所を作る補助金も8割までになりました。舗装は補助金で修繕する予定でしたが応急的に修繕します。
何ミリ降水量があると避難しなければならないのか、ハザードマップで分かるのか。	ハザードマップでは分かりません。气象台からレベルで出している情報によります。村では自治会単位くらいで情報を出せるように今年度準備を進めています。
智里東でも地区防災マップが作れると良い、住んでいる人が地域のことを一番分かっている、避難に助けがある高齢者など行政では無理なところまで分かる、行動指針になる防災マップの作成を行いたい。	自主防災組織も大変ですがマニュアルがあります。村もどの様な形にするのか考えながら進めたいと思います。

避難所等の備蓄品やどこに何がどれくらいあるのかなどの情報共有が大事、避難所のWi-Fi整備も大事と思う。	備蓄品の情報共有ははしていきたいと思います。Wi-Fiは指定避難所に設置します。
ハザードマップをどう活用するか手段と活用の方の趣旨を一緒に配布すべきである。	活用できるようにしていきます。
智里東保育園の老朽化と未満児受入により手狭になっている、駐車場の拡張も考えた建て替えについて。	未満児の受入で部屋が少ない現状です。全体の中で検討し整備をしたいと思います。現状の位置では駐車場の拡張は出来ないと思います。
サルが道を歩いたりで、一人で下校する子供が危なく感じる	サルは急に出没するので集団下校は大変難しい。先生が全部ついて行くわけにも行かない。学校と相談したいと思います。
親が農業をやっていたのでその子供が農地を守っていくというイメージはもうない。百姓の家ではない人たちが労働の対価としてお金をもらい応援出来るシステムを考えてほしい。	農業をどう支えていくか大変な課題です。阿智村らしい、阿智村ならではのシステムを考えていきたいと思っています。
東の農地を考える会で、草刈り作業が大変なので草刈機を用意して皆でやるシステムを考えようとなっている。	建設農林課と協議しながら出来ることはお手伝いさせていただきます。
ハザードマップで危険という箇所を分譲地として斡旋した場合村の責任か、自己責任か。	ハザードマップで土石流や氾濫危険区域等が示されているので斡旋時は確認してもらい購入者の判断に任せられています。ハウスメーカーも役場に確認に来ています。
村だけではなく、飯田市、周辺市町村も含め支援対策を検討してほしい。個人でボランティアは難しい。	阿智は飯伊ブロック飯田市などと一緒に災害応援協定に基づき活動をしていきます。ボランティアのことも含めて要請を聞きながら行います。
月川周辺の土地の賃借契約は、阿智開発公社が結び直しているのか。	9月1日から阿智開発公社と賃貸借契約を同じ単価で結んでいます。
昼神温泉将来構想の中で色々な事業が進められているのか。将来構想が公にされるのはいつなのか。	温泉の将来構想のコンセプトに沿って計画等を進めていき、リニアが出来る1～2年前までには必要な機能を整えたいと考えています。
鶴巻の指定管理についての考えは。	鶴巻荘は村民の皆さんに多く利用されている。今後普通財産として契約を締結させていただくように考えています。
清内路自治会から出された、質問、意見等	回 答 等
清内路振興室が清中プラザに移転になり、費用もかかると思うが早く基幹的な施設となるようお願いしたい。	施設整備を進めていきます。
上清内路集会所付近の河川の中の木が大きくなり危険を感じている。黒川・小黒川にも大きな木があり倒木もある、砂防堰堤の整備と合わせて河川整備をお願いしたい。	管理者の県に要望をしていきます。災害にならないようにしていきたいと思っています。
定住促進のためには住むところの確保が必要だと思います。空き家も売るとか返す時の状態を気にすることなく自由に使用できるとかして借りやすくしたらと思います。	今のところ現在ある補助制度の活用で直していただきたいと思っています。
空いている教員住宅の活用は出来ないか。	教員の転入でいつから利用するのか難しいところですが何年間も利用しない予定、見通しがたてば有効利用することは検討できることだと思います。

ぬくもりの田舎暮らし推進事業補助金の上限を倍に出来ませんか。	今後に向けて検討します。
信号機が青でも無視して通行する車輛があり子供達が大変危険です。アスファルトを赤くして信号機があることを知らせてほしい。	県に確認して回答させていただきます。
伍和自治会から出された、質問、意見等	回 答 等
伍和に自治会館建設の構想はあるのか。	伍和でも建設可能ですが、維持費などは地元の負担も有ります。
伍和公民館は災害時の拠点として避難場所として適しているのか。	土砂災害警戒区域ですので土石流時は避難所には出来ません。伍和公民館の老朽化や高齢者の方が使用するには不便があると聞いています。建て替えという事も有ると思います。
ハザードマップは住民の話聞いて作成したか。災害時のマニュアルや組織について指導していただきたい。	県の指定した区域を基本に作成してあります。配布後地元の皆さんで現地を見るなどして意見をいただけたらと思います。組織等については今後お願いしていきたいと考えています。
智里西自治会から出された、質問、意見等	回 答 等
県道富士見台公園線の歩道の整備について、最初の説明と違っている事がある。まだ回答をもらってない事も有る。	長野県に確認させていただきます。
定住関係の相談会に定住係だけでなく、農業関係の係も行くとかしたらと思う。	今年度東京へ6回参加し、ほとんどが定住係と産業振興公社または農政係とで参加しています。
空家を貸しても良いという住宅は地区に何件あるのか。地区に空家対応人員を配置して進めたらどうか	誰にでも貸して良いという登録は1件です。
地区の中に携帯電話使用不可な場所がある、地区としても電話会社に要望をあげる、村からもお願いしていただきたい。	村からも要望をあげていきます。

清内路自治会分科会からの要望等

組合で管理利用している井水の修繕をしたいがどうすれば良いか。	区会で管理利用している水道の整備をしたいがどうすれば良いか。
村道・県道のガードレール、フェンスの設置、路面の補修等を要望する。	移住者が自治会、組合に加入しない地区の和を乱す。住民登録時に指導しているのか。
消防団のポンプ操法や行進訓練は必要なのか。消防委員の構成に団長経験者ではない村民を含めたらどうか。	空き家解体の補助金を、利子補給のみではなく拡充を検討してほしい。
インフルエンザの予防接種を地元診療所で受けるなど地域でもっと活用するようと思う。	特定健診の通知を5月中に配布していただきたい。健診内容を保健師から説明してもらいたい。
高齢者が免許返納した場合タクシー券を交付してあげることがよい。	元気なうちに入居できるサービス付高齢者住宅を考えては。
高齢者を夜間預かってくれる施設が必要となると思う、そのような施設を考えてほしい。	フルタイムで働きながら子育てしたい保育園の開園時間を長くして欲しい。住んでいる地区の保育園に通わせたい。未満児保育もお願いしたい。
複式学級や統合をしないで子どもが増えるような子育て支援を行ってほしい。	こども子育て支援計画を策定したら見ることが出来るのか、本日の発言を反映してほしい。

少人数による学校運営は子育てにとって不安、複式学級はやむを得ないが学力向上に力を入れてほしい。	1人の学年があるので他の地区から清内路へ通学できるような考えは持っていただけないか。
高齢化に加え、獣害が多く農業が継続できない。農地が少なく農業のみでは無理がある。山地酪農の取組を考えていきたい。	産業振興公社がバイオマスボイラーを設置するが、地元材を使っての仕組み作りをしてほしい。
林業振興施策を進めてほしい。林道、作業道の整備が必要ではないか。	化石燃料からバイオマスに替える、椎茸の駒打ちや炭焼き体験などで観光客も来るのではないか。
伍和自治会分科会からの要望等	
未満児保育、延長保育を地元保育園で行って欲しい。	小学校の校名を浪合・清内路小学校のように伍和小学校という校名にしてもらえないか。
以前は交通の事を考慮して正門から入らなかったが今は正門から通学出来る様にしてほしい。	学校の資源回収が年1回になり不便となった。伍和公民館で子供達の習い事ができると良い。
防犯灯は、ソーラータイプにしてはどうか。村の基準で設置は暗いので基準の見直しをしたら。反射タスキなど安全対策を考えてほしい。	断水・停電時の対策を考えてほしい。被災時孤立する集落も考えられるので3日間くらい地域ですぐず事の対策も考えてほしい。
伍和公民館を安全な場所へ立て替える事を要望します。	伍和高齢者生きがいセンター前の横断歩道の設置、他にも要望をしているので県へ陳情するなどして回答をいただきたい。
智里西自治会分科会からの要望等	
定住促進住宅の状況はどのようになっているのか。申込みがあったのか。	地区全体で草刈りなどの作業に困っている、何か補助のようなものはないか。
清内路で行っている救命サポート隊は智里西でも必要と考える、取組は出来ないか。	県道園原清内路線の橋梁で欄干の補修が仮になっている、危険でもあるので修繕をお願いしたい。
スタービレッジ関係で0時過ぎまでゴンドラが動くのなら騒音対策をしてほしい。	スタービレッジ関係の観光客の交通マナーが悪い。
スタービレッジ関係の看板が分かりにくい、分かりやすい看板設置をお願いしたい。	スタービレッジ関係で夜の営業を行う時に除雪・融雪の対応はなかなか出来ないと思う。
星をきっかけに住んでみたい、働いてみたい人はいないのか。直売所の構想はどうなっているか。	遊休農地が増、空家も増加傾向上手く活用できないか。智里西の農業を引張る組織が必要。ライスセンターの統合はどうなっているのか。
障害木の伐採を積極的に行ってほしい。地区で行っている道路清掃などに補助はないか。	妻籠、馬籠には外国人が入っている、阿智村にも呼び込めるといい。
診療所を取り壊す事になっているが、何かに使えないのか。	地域で一人暮らしのお年寄りを見守って行ければ良いのだが、民生委員、保健師に訪問していただけるとありがたい。
地区では介護保険認定者が少ないのでは。おたっしゃ会の利用はどうなのか。	免許返納について、本人家族がどのようにしていったらよいか。
村外の高校への通学手段があると良い。阿智高校のバイク通学の許可。	第一小学校までプール利用に行くことになったが今年は一度も解放がなかった。
智里西保育園でも、未満児保育や延長保育を行ってほしい。	保育サポーター制度も充実させ智里西の中でも利用出来る環境づくりをしてほしい。



地域の子どもたち

阿智村の子どもたちの
学校での様子を紹介します



昭和45年度から続いている伝統の独楽まわし大会が行われました。子どもたちはいろいろと試行錯誤しながら、一生懸命取り組んでいました。
(阿智第一小学校)



6年生が南信地区学校図書館教育研究大会で、阿智村のよさを伝えるパンフレット作りの授業を公開しました。
(阿智第二小学校)



恒例の「おやす・しめなわ・へいそく作り」。地域の高齢者クラブの皆さんに教えて頂いて、1年生もどんどん上手になっていきました。
(阿智第三小学校)



11月の人権教育強調月間では、人権擁護委員の皆様による人権教室を行いました。
(浪合小学校)



毎年恒例の地域の方と作る「郷土食の日」。今年は五平餅を教わりながら作りました。
(清内路小学校)



「村長さんと語る会」 3年生は、阿智村の未来を創りだす提案を村長さんや教育長さんに聞いていただき、意見交換を行いました。
(阿智中学校)

保育園日記

村内6つの保育園の様子を紹介します。
元気な子どもたちをご覧ください。

あふち保育園



祖父母の皆さんと
さつま芋掘で大収穫！

清内路保育園



いちょうのじゅうたんで遊んだよ！

浪合保育園



11月お誕生会 フィオーレさんが子どもたちに
素敵な歌をプレゼントしてくれました。

伍和保育園



みんなで手つなぎオニ、楽しいな

智里東保育園



つきぐみ 食べもの広場開店！

智里西保育園



おたっしゃ会のおばあちゃんたちと
楽しく遊んだよ

6園の輪



阿智村 村民バスツアー 3月24日(火)

春休み特別企画!

高校生以上3,800円 中学生以下2,800円

東山動物園入場券こみ

毎年恒例村民バスツアー春休み企画。今年は動物園へ行きます!



■最少催行人員 20名 最大28名

■締め切り **2020年 3月10日** (定員になり次第締切)

■行程

集合場所 清内路振興室 8:30 屋神バスターミナル (旧ガイドセンター) 8:50 阿智村役場 9:00

10:30 東山動物園 自由散策 (昼食各自) 16:00発

18:00 屋神バスターミナル (旧ガイドセンター) 18:10 阿智村役場 18:30 清内路振興室着 予定

※昼食は各自でご準備ください バス会社・・・南木曾観光バス

■お問い合わせ・お申し込み

阿智☆屋神観光局 TEL:0265-43-3001 営業時間:9:00~17:30(無休)

■旅行企画・実施

(株)阿智屋神観光局 長野県知事登録旅行業 第2-491国内旅行業取扱責任者:村松晃
〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里338-25



あち健康 レシピ 21 vol.13

健康とバランス食
健康家族



ひじきと彩り野菜の炒め煮

お正月も終わり、生活リズムは戻ってきましたか？
海藻に含まれる「水溶性食物繊維」は、腸内細菌のエサになり、おなかの調子をととのえてくれるようです。寒い時期は閉じこもりがちですが、運動や水分摂取、十分な睡眠も心がけ、すっきりした毎日で春に備えましょう！

【材料5人分】

- ひじき（乾燥）……………10g
- ツナ缶……………1缶
- ミックスビーンズ（または大豆水煮）……………80g
- にんじん……………50g（1/4本）
- 小松菜……………50g（小1株）
- こんにゃく……………50g（1/4枚）
- ごま油……………小さじ1
- しょうゆ……………大さじ1
- みりん……………小さじ1
- 塩……………ひとつまみ

【作り方】

◎下ごしらえ

- ① ひじきは、たっぷりの水に20分以上つけてもどしておく。
- ② にんじんは3cmほどの長さに切る。小松菜の茎もにんじんと長さを揃えて切り、葉の部分は3cm角くらいに切る。こんにゃくは太めのせん切りにする。

◎炒める

- ③ フライパンにごま油を熱し、にんじんとこんにゃくを入れて中火で炒める。
- ④ 続いて水をきったひじき、ミックスビーンズ、小松菜の茎を入れる。
しょうゆとみりん、塩を加え、弱火にしてふたをし、2分ほど煮る。
- ⑤ 最後にツナを汁ごと加え、小松菜の葉も入れて強火でさっと炒め合わせてできあがり。



完成



①



②



④

1人分あたりの栄養成分	
エネルギー	86kcal
たんぱく質	5.1g
脂質	4.9g
糖質	3.0g
食物繊維	3.1g
食塩相当量	0.8g

教えてください！あなたの十八番レシピ

春に美味しい野菜を使ったお得意の献立を是非ご紹介ください！こちらのコーナーに掲載させていただきます。

●お問い合わせ 保健センター係 管理栄養士（45-1230）

阿智高だより

vol.64

みなさま、あけましておめでとうございます。昨年も本校の活動に様々な形でご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

いよいよ学習活動のまとめの時期になりました。これまでの活動の様子をご報告いたします。

神坂学習塾の授業を中学生が体験しました！！

～中学生向けの体験体感授業を実施しました～



11月9日(土)に阿智高生のための進学学習塾として運営している『神坂学習塾』の授業を、実際に中学生に体験してもらいました。中学生は、塾の説明と現役塾生からの話を聞いたあと、『英・数・国』から事前に希望した2教科を、30分ずつ受講しました。また、保護者の方に向けた説明会も併せて実施しました。

中学生たちは、短い時間ながら意欲的に、また楽しそうに授業に取り組んでいました。体験後のアンケートには、「塾の授業の様子がわかった」「授業の内容がとてもわかりやすかった」「先輩たちが、塾を活用して学習と部活を両立させていてすごいと思った」等の声が多く寄せられ、有意義な体験をしてもらえたようです。さらに「高校進学や、その先の進路について考える機会になった」という感想もあり、好評のうちに終了することができました。

今年度も英会話教室を行いました

神坂学習塾の小林彩先生を講師に9月10日(火)から始まった英会話教室は10回の講座を行い、11月19日(火)に終了しました。

基本のあいさつ・自己紹介から始まり、実用的な英会話を学びました。東京オリンピックに向けて、外国人に日本の文化を紹介したり、飯田下伊那の観光案内を題材にして会話の練習をしました。



『伍和さんぽ』を開催しました

11月9日(土)に地域政策コース・観光エリアの3年生が阿智村伍和地区で『伍和さんぽ』を開催しました。

伍和地区自治会の協力を得て、75名の皆様に参加していただきました。伍和地区周辺でスタンプラリーをしながら、自治会の方々と一緒に作ったカレーを食べました。トッピングのカボチャとサツマイモは、地域政策コース・農業エリアの3年生が栽培したものです。地域のみなさまにご協力・ご参加いただき、楽しいイベントにすることができました。ありがとうございました。



地域政策コース学習成果発表会を開催します！

1月31日(金)13:30から阿智村中央公民館において、地域政策コース(観光/農業/福祉)の2・3年生が、1年間の学習成果を発表します。地域のみなさまのご協力により、今年も充実した学習を続けることができました。

みなさまのお越しをお待ちしております！





11/10 阿智村消防団火災予防呼びかける



秋の火災予防運動期間、阿智村消防団と伊賀良消防署の合同で人波作戦を国道153号の春日の交差点で行い、のぼり旗や横断幕をあげて、停止中の車に啓発資材を配り、火の取り扱いに注意するよう呼びかけました。

10/18 安全安心の村を目指し地域見守り活動に関する協定



阿智村社会福祉協議会、商工会、下伊那西部シルバー人材センター、伍和産業、南信州広域タクシーと「見守りネットワーク」の、協定を締結しました。高齢者宅を訪問し、異変に気づいた際は村や関係機関に連絡する仕組みになっています。

11/17 三遠南信自動車道 天竜峡ー龍江IC 開通



飯田山本から喬木村までの約14.6㎞が連続して通行可能となり、中央自動車道と竜東方面間のアクセスが向上しました。

未供用区間は、飯田上久堅・喬木富田- 喬木IC間の7.5㎞のみとなりました。

11/13 清内路一番清水の会が被災地に災害義援金



櫻井俊数副会長は、阿智村役場を訪れ、村長に台風19号の災害義援金5万円を手渡しました。

義援金は、一番清水の会（会員約50名）からの募金と湧き水利用者からの浄財となります。



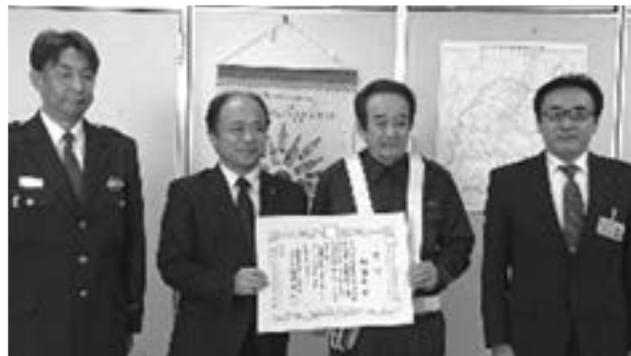
Achi Photo report

12/11 ヘブンスそのはら Winter night tour CO²フリー電気で営業



阿智村スタービレッジ阿智誘客促進協議会は、今シーズンの冬のナイトツアーからスキー場の運行すべての電力をCO²フリー電気でまかない、二酸化酸素の排出を抑える環境にやさしい取り組みを行います。

11/21 阿智村交通死亡事故ゼロ1000日達成



2017年1月4日から9月30日交通死亡事故ゼロ1000日を達成し、県交通安全安全運動推進本部顕賞を授与されました。阿智村交通安全協会や交通安全指導員が中心となって人波作戦など啓蒙活動に取り組んで、地域の安全に取り組んでいます。

1/12 阿智村消防団出初式



恒例の阿智村消防団出初式が行われ100名以上団員が出席。保育園児で組織された「幼年消防」、小学生で組織された「少年少女消防クラブ」と役場周辺を市中行進しました。

12/12 村内教職員対象の英語研修会で指導力向上



村が学力向上の重点科目としている「外国語活動・英語」の授業の教員の指導力・実践力を向上と学校や役職の垣根無く議論を深めることを目的としています。文部科学省が推奨する「small Itaik」を中心とした授業づくりを学びました。

スキー場、滑れます

年 金太郎



阿智村民生児童委員名簿 (敬称略、◎会長 ○副会長)

担当地区	氏名	担当地区	氏名
七久里・知久保	河合伊津子	大沢・大野・中野・奥藤	奥澤 明子
豎町・下西	折山 忠子	中平・伏谷	小松 光代
中関上・中関下・中関団地	◎小野 恭志	下平・昼神	渋谷 礼子
	熊谷 裕子	戸沢・中央	前田壽和子
砂田・馬場	林 あつ子	濃間・園原・横川	熊谷 幸子
木戸脇・伝馬町	林 順子	恩田・荒谷	下山みさを
下町・栄町	大場喜代子	宮本・中下町・上町・治部坂	近藤 節子
上町・市の沢・大橋・曾山	岡庭 節子	宮の原・上半堀・下半堀	○後藤 千恵
古料・下郷・上郷	木下美恵子	下清1	櫻井 成人
洞・日の入・原の平	園原 秀子	下清2	櫻井 純子
大鹿・青見平・寺尾	熊谷 節子	上清1・上清2	原 堀夫
西栗矢・東栗矢	實原 尋子	主任児童委員	三浦 陽子
丸山・備中原	橋本弥重子		櫻井 紀子

民生児童委員です。

昨年十一月末で民生児童委員の任期が終了し、十二月より新任期の民生児童委員が厚生労働大臣より委嘱されました。(任期は三年間)

民生児童委員は「社会福祉の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める」ことを職務とし、子育て家庭から高齢者の方まで、誰もが暮らしやすい地域社会をつくるために、皆

さんの身近なところで様々な相談・支援をしています。
新任委員 (敬称略)



●お問い合わせ
民生課 福祉係

(内線二二四)

わたしの撮っておき

みなさんのとおきの写真を募集したところ、いろいろなショットを送っていただきましたので、ご紹介します！



応募締切 2020年2月14日(金) 必着

応募方法 広報係へ、写真を直接お持ちいただくかメールでご応募ください。

必要事項の明記

写真の裏側かメール本文に次の①～⑥を明記ください。

- ①タイトル ②コメント ③撮影場所
- ④ペンネーム ⑤氏名 ⑥電話番号

メールの宛先 koho@vill.achi.lg.jp

- ※ご応募いただいた写真はお返しできません。
- ※応募多数の場合は、順にご紹介します。
- ※個人情報 は 広報掲載のために使用し、本人の同意を得ず第三者に開示しません。



雨の浪合

by だいちゃん

発行：阿智村役場 (〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483番地)
編集：協働活動推進課広報係 TEL 0265-43-2220 (代表) FAX 0265-43-3940
E-mail: koho@vill.achi.lg.jp ホームページ <https://www.vill.achi.lg.jp> → QR
印刷・製本 龍共印刷株式会社



私たちの村 (1/1現在)
人口……6,359人
男……3,076人
女……3,283人
世帯……2,389戸

平成31年度・令和元年度

全国学力・学習状況調査のまとめ

阿智村教育委員会

この報告書は、阿智村の児童生徒の「学力調査の結果」と「学力向上の取組」をまとめたものです。

はじめに 「全国学力・学習状況調査」の目的とは

少子・高齢化、グローバル化、そしてAIの発展など、急速で激しい社会変化が進行する中、子どもたちにどのような力を付けることが必要なのか、こうした議論を踏まえ、ここ数年、大きな教育改革が進められてきました。小・中・高等学校の教育の目標・内容を示す『学習指導要領』では、次の3つを学力の重要な要素としています。

- 変化の激しい社会を生き抜く、生きて働く「知識・技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」
- 学びを人生や社会に生かす、「学びに向かう力・人間性」

これらの力が子どもたちに確かに身に付いているか、このことを評価し、また教育施策や教育指導の成果と課題の検証改善を図るため、全国学力・学習状況調査は、悉皆調査（原則全ての学校で実施）として実施されています。

この「まとめ」の内容構成

1 調査実施状況（実施期日，対象学年，調査の内容，実施学校数・児童生徒数）	P 1
2 阿智村の児童生徒の学力調査結果	P 2
3 阿智村の児童生徒の学力向上に向けた取組	P 3
4 学力向上～実際の取組の様子から（写真掲載）	P 3～4

1 平成31年度・令和元年度の実施状況

(1) 実施期日・対象学年

平成31年（2019年）4月18日（木）実施，対象は小学校6学年及び中学校3学年

(2) 調査の内容

①教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

本年度からA問題（知識）・B問題（活用）の別なく，次のアとイを一体的に出題するようになる。

ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題
 イ 知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力や，様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題

②質問紙調査

「児童生徒に対する質問紙調査」（児童生徒回答）と「学校に対する質問紙調査」（校長回答）

(3) 実施した学校数・児童生徒数

学校種	実施学校数（校）		実施児童生徒数（人）	
	小学校	中学校	小学校	中学校
阿智村（公立）	5	1	66	62
長野県（公立）	360	186	17,649	16,425
全国（公立）	19,263	9,513	1,028,203	938,888

2 阿智村の児童生徒の学力調査結果

(1) 過去5年間（平成27年度～31年度・令和元年度）の学力調査結果

	小学校					中学校				
	27	28	29	30	31(元)	27	28	29	30	31(元)
国語A	○	△	◎	○	◎	○	△	○	◎	△
国語B	◎	△	○	○	◎	△	△	△	△	△
算数・数学A	○	◎	◎	○	◎	△	△	◎	△	△
算数・数学B	△	○	◎	○	◎	△	△	○	△	△
理科又は英語	△理			○理		△理			◎理	△英

<表の見方>

- ・全国平均正答率を上回る
◎ > 1.5ポイント
- ・全国平均正答率と同水準
-1.5 ≤ ○ ≤ 1.5ポイント
- ・全国平均正答率を下回る
△ < -1.5ポイント

<過去5年間の結果から～阿智村の児童生徒の課題>

全体として良好な結果の年度も多いが、課題として次の3点が挙げられます。

- ① 小中ともに身に付いた知識を「活用」する力（B問題）に課題がある。本年はA Bを統合する出題となったが、問題分析を通し、同じ傾向が継続していることが分かった。
- ② 小学校は、この5年間概ね良好な結果が続いているが、本年は学校間の格差が見られた。
- ③ 中学校は、やや思わしくない結果が続いている。特に活用の力が伸びていない点が課題である。

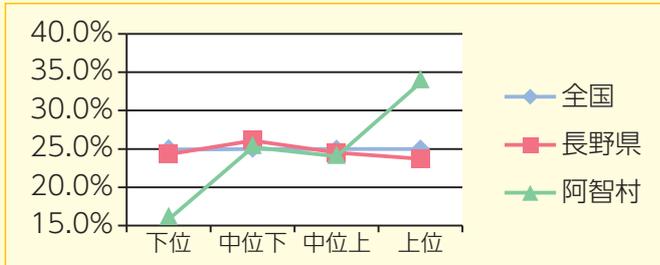
(2) 平成31年度・令和元年度の学力調査結果

① 分布に着目した学力の状況と課題（国語・算数・数学）

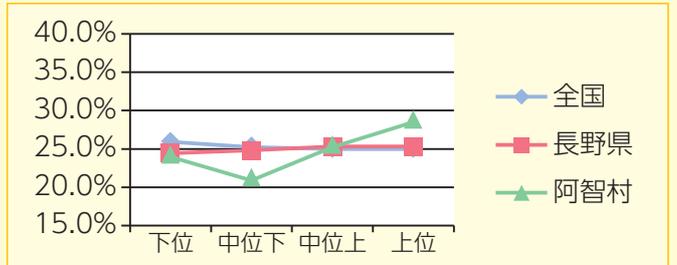
<グラフの見方>

全国の受検者を正答数の多い順に上位から25%ずつに4分割し、それぞれの区分を上位から上位層・中位上層・中位下層・下位層とした上で、各区分に入る「長野県」と「阿智村」の児童生徒の割合を示す。（県教委データ参照。但し、英語についてはデータなし）

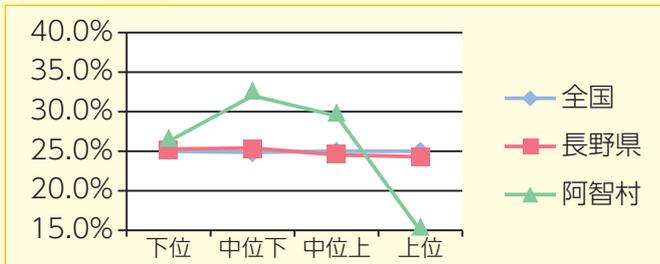
【小学校国語】



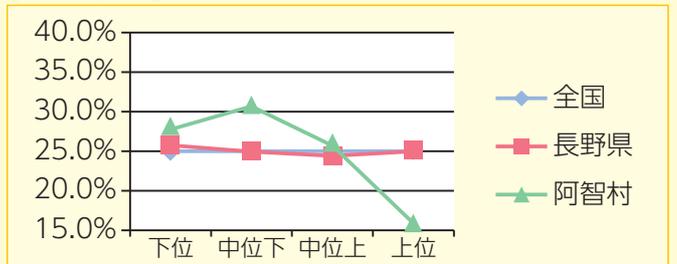
【小学校算数】



【中学校国語】



【中学校数学】



② 中学校で初めて実施された英語の結果から

- ・英語についても、国語・数学と同様に中位下層の生徒が多い。
- ・英文の読解については、全国平均、長野県平均との差異は小さいが、まとまった英文メッセージを聞いたり、一定の英文を読んだりした上で、「英文を書く」設問では正答率が低い。



3 阿智村の児童生徒の学力向上に向けた、教育委員会の取組

4ページに実際の写真掲載

阿智村では、児童生徒の学力向上を図るために昨年度「阿智村学力向上推進委員会」を立ち上げ、各校の先生方による方策の検討を経て、以下のような具体的な取組を進めています。

- 児童生徒の「確かな学力の定着」と「学習に向かう主体的・自立的な姿勢の育成」のため、小学校の『放課後学習教室』と中学校の『若駒アカデミー』を実施・拡充します。

小学校「放課後学習教室」、中学校「若駒アカデミー」

- ① 全小学校で村費の学習支援員による「放課後学習教室」（特に高学年対象）を開設。
令和元年は第一小、第二小、第三小、清内路小に開設、2年度は浪合小でも開設予定。
- ② 中学校で3年生対象の受検対策講座として「若駒アカデミー（5教科7講座）」開設。
2年生へ拡大予定。

- 「外国語活動・英語」、「算数・数学」を学力向上の重点教科とした取組を進めます。

「外国語活動・英語」教育～6つの特徴

- ① 小中学校の全授業を「学級担任（中学は教科担任）とALT（外国語指導助手）」で実施。
- ② 小学校では『あちモデル』という独自の指導計画（学習指導要領準拠）による実践。
- ③ 村費の外国語活動・英語担当専門主事が全教室の授業づくりを支援。
- ④ 英語検定料を公費半額補助、英語検定を受検する児童生徒に「英語検定対策講座」を実施、検定合格のための支援を具体化。
- ⑤ 英語の教育ソフト（デジタル教材-音声動画）を積極的に活用。（常によい「発音」に触れる）
- ⑥ 民間の英語教育機関と提携した「質の高い教員研修」の継続

「算数・数学」教育～「教えて考えさせる授業」

- ① 算数・数学においては、市川伸一教授（東京大学大学院教育学研究科）が提唱する『教えて考えさせる授業』を実践化。市川教授を招き、公開授業と研修会を実施。

- 村内の小中学校で「授業改善の4ポイント」・「授業の約束事」を実践しています。教師がよりよい授業を創るために意識する4ポイントは下記のとおりです。

各校で取り組む、授業改善4ポイント

- ① 児童生徒が付けるべき力を明らかにして指導に臨む。
- ② 児童生徒が身に付けた知識や学習経験を活用して学習課題を解決するよう指導する。
- ③ 教具や実験装置、思考ツールやICT機器を活用しながら考えを深めるよう指導する。
- ④ 「どのような学習によりどんな力が付いたか」を毎時間振り返るよう指導する。

4 学力向上～実際の取組の様子から

(1) 本年度の「英語検定」受検状況

◇ 第1回（6月）

第1回	準2級	3級	4級	5級	計
受検者数	1	2	7	10	20
合格者数	0	1	5	7	13
合格率	0%	50%	71.4%	70.0%	65.0%

◇ 第2回（10月）

※第3回は1月実施

第2回	準2級	3級	4級	5級	計
受検者数	1	15	12	15	43
合格者数	0	10	10	14	34
合格率	0%	66.7%	83.3%	93.3%	79.1%

(2) 小学校の「放課後学習教室」、中学校の「若駒アカデミー」



＜放課後を使い学習に取り組む第二小児童＞



＜5教科7講座の若駒アカデミー，英語基礎の授業＞

(3) 重点教科「外国語活動・英語」



＜動作を交え英語を学ぶ第三小児童＞



＜英語教育専門主事による英検対策講座＞

(4) 重点教科「算数・数学」



＜「教えて考えさせる授業」に取り組む児童＞



＜東京大学市川教授を迎えた公開授業研究会＞